

## 竹演セット 建仁寺垣 全サイズ共通

この度は竹演セット【建仁寺垣】をご購入頂きありがとうございます。  
ご使用前に本書をよく読み、下記の注意事項を守りご使用下さい。

また、本書は大切に保管しておいて下さい。  
万一不具合、不明な点がございましたら、弊社までお問合せ下さい。

## 取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。  
表示と意味は以下のようになっております。



## 警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を  
起こすおそれがあります。

- ・竹垣は隣地境界の目隠しや景観向上を目的に設置するものです、防護柵等の目的には使用しないで下さい。
- ・風当りの強い場所や地盤の弱い所で使用する場合は控え柱などを取り付けして下さい。



## 注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する  
場合があります。

- ・アルミ材などの小口や製品の切断面には鋭利な部分がありますのでご注意下さい。
- ・引火する恐れがありますので、火気や高温を発生する場所の近くでは使用しないで下さい。
- ・腐食の原因になりますので、アルミ柱の中にモルタルを流し込まないで下さい。
- ・モルタル、コンクリート用の急結剤は使用しないで下さい。
- ・凍結防止の為、水抜き穴をあけて下さい。また、アルミ柱の中にスチロール等を入れ水が溜まらない様にして下さい。
- ・柱の間隔などは指示範囲内で施工して下さい。
- ・倒壊する恐れがありますので、ビスで固定する部分は適正なトルクで締め付けを行って下さい。
- ・現場切り詰めを行う場合は切断面はヤスリ等でバリ取りを実施して下さい。

別途ご用意して  
頂く必要のある物

- ・インパクトドライバー
- ・掘削用の各種工具
- ・柱固定用のモルタルコンクリート
- ・水平器などの各種工具



本社

〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

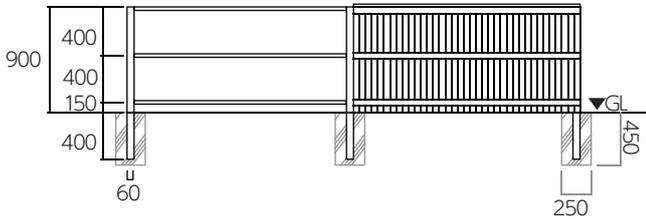
TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

Email info@globen.co.jp

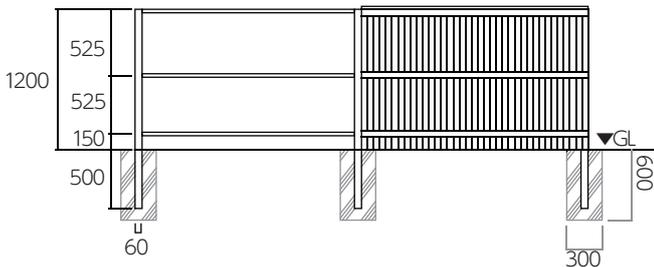
# 基本寸法図

## 高さ別参考図

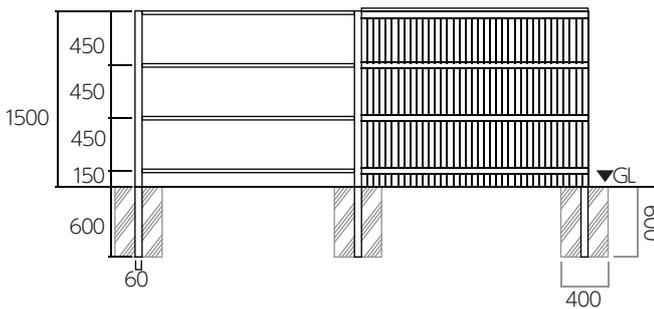
### H900



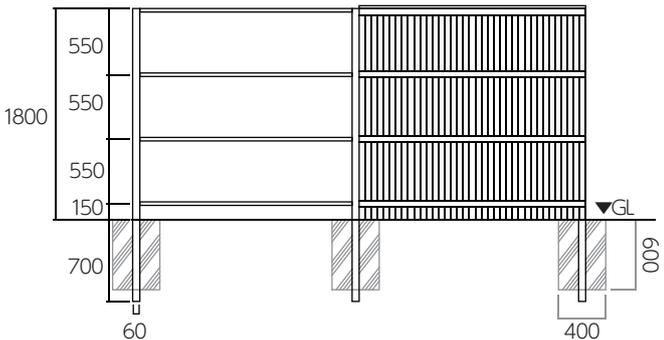
### H1200



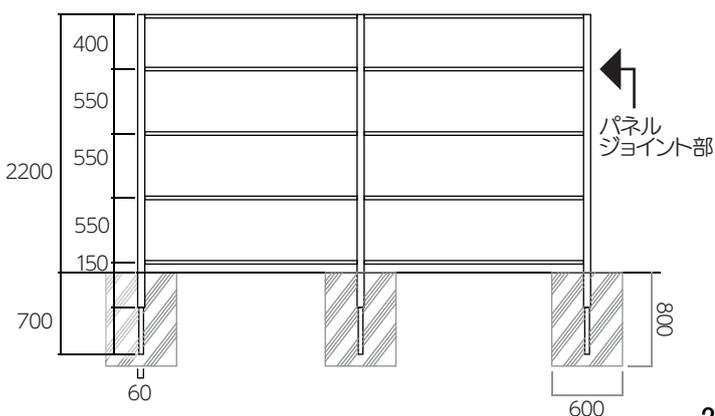
### H1500



### H1800

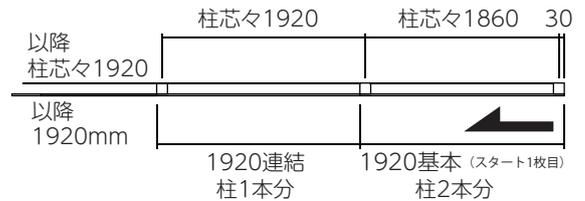


### H2200

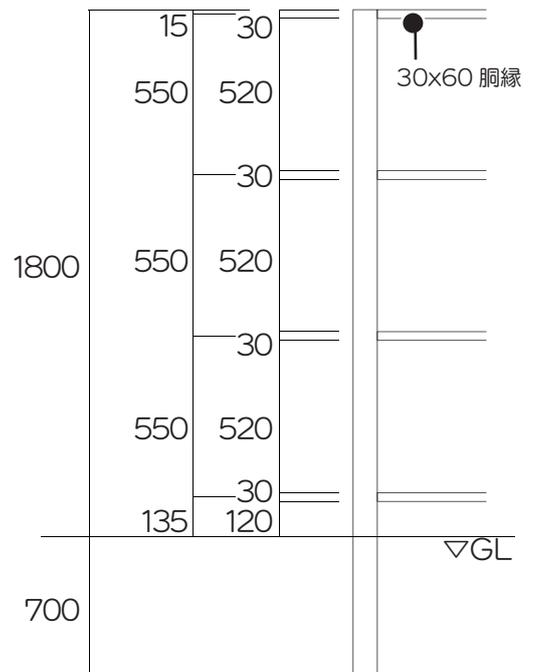


## 柱ピッチ詳細図

柱は60角柱（別売）を使用します。基本スパン（スタート1枚目）のみ柱ピッチが異なり、以降の連結スパンは同じです。



## 参考：H1800 胴縁ピッチ詳細図



胴縁の上下間隔は400～550mmで、調整して下さい。貼面H1800以上でパネルを上継ぎ足す場合は、胴縁が中間に来るようにして下さい。（P.5参照）

## 参考：柱埋込深さ基準

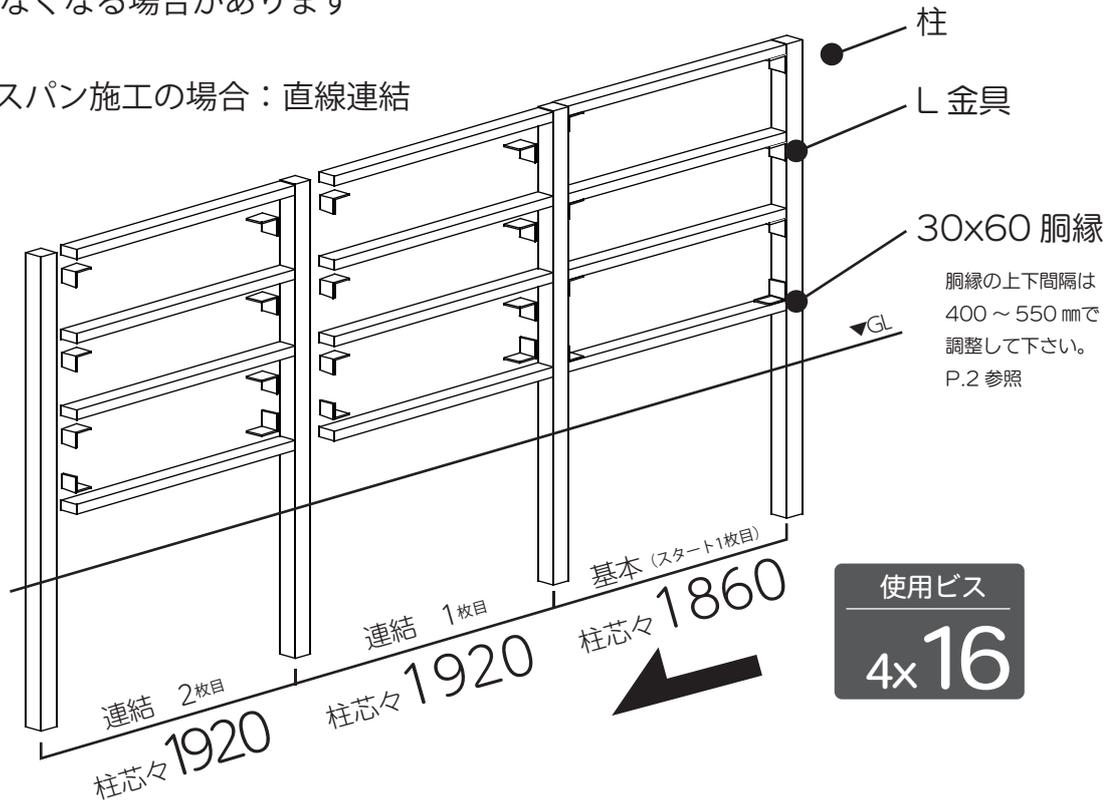
柱の埋込深さはGLからフェンス高さの1/3程度を確保して下さい。

# ・取り付け手順

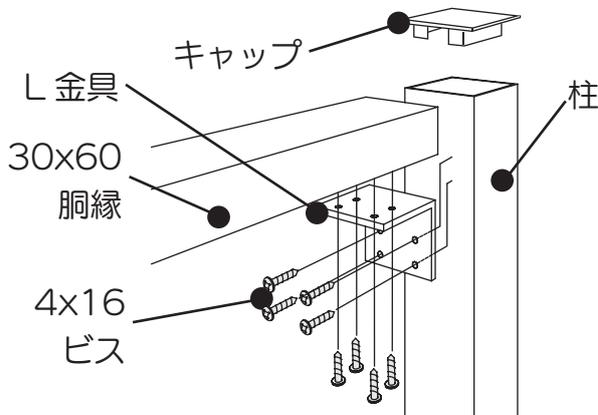
## ■部材の用意

- ・フェンス本体セット、柱セット、小口隠しセットはそれぞれ別売りです。
- ・柱を基本ピッチに準じて、立てます。アルミ部材はカットして調整します。
- ・フェンスのスタート1スパン目の胴縁はカットして下さい。パネル寸法が不足になる場合があります

規格3スパン施工の場合：直線連結



## ■柱と胴縁の固定



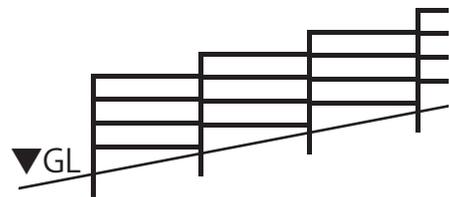
柱にキャップをはめます。L 金具を 30x60 胴縁へ先に取り付け、柱に取り付けして行きます。

### コーナーの納まり

コーナー部分は、直角連結の場合のみ、兼用柱での設置が可能です。直角以外の場合は、柱を2本立てて下さい。

### 傾斜の納まり

胴縁は水平に取り付けて下さい。



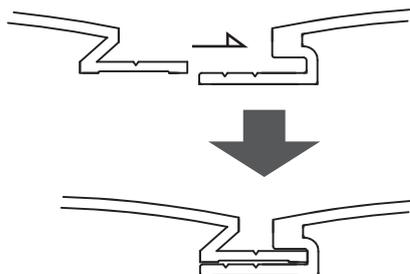
# ・取り付け手順



両面仕様は裏面もビス固定が必要です。

## ■パネルの向き

- ・パネル端部の形状は左右非対称です。
- ・端部の縦筋の数が左右で異なります。
- ・連結部は等間隔に収まります。

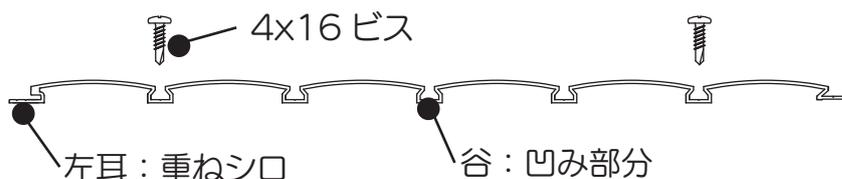


## 人工竹のカット

人工竹は、アクリル系の樹脂製です。カッターや、ノコギリ、電動丸ノコなどで切断出来ます。



## ■パネルの取り付け



使用ビス

4x16

### パネル断面イメージ

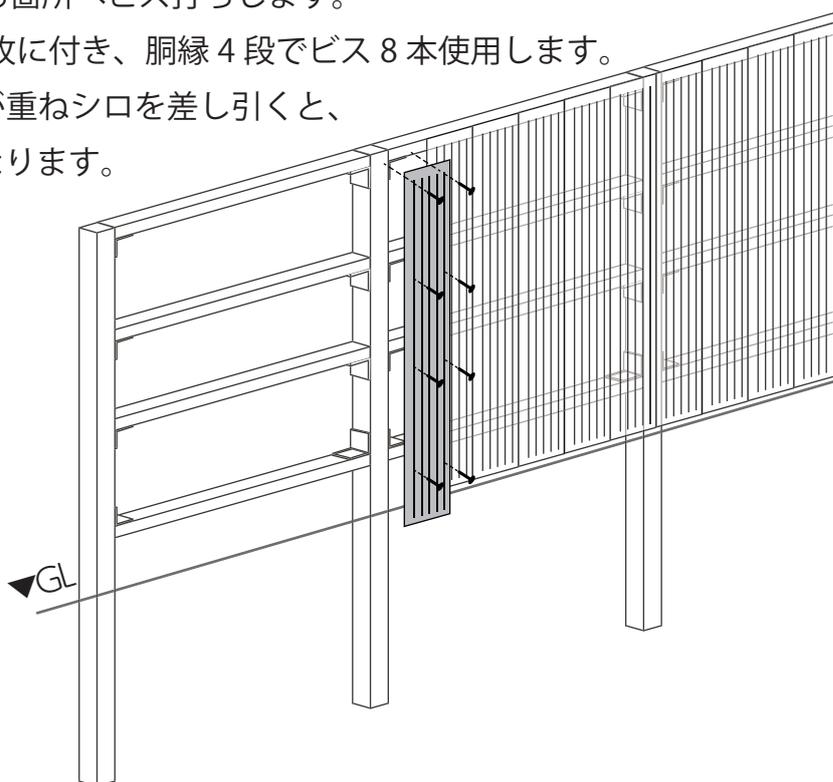
- ・パネルの谷で、胴縁のある箇所へビス打ちします。
- ・H1800 の場合、パネル 1 枚につき、胴縁 4 段でビス 8 本使用します。
- ・パネル 1 枚：W330 ですが重ねシロを差し引くと、1 枚当たり W 約 320 となります。

右から順に

取り付け



パネルは温度差で伸縮する場合があります。φ5.0 程度の下穴を開けてから固定して下さい。



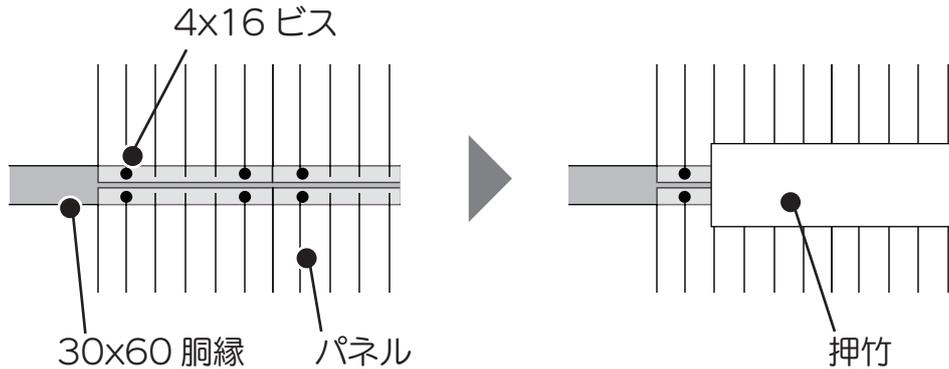
# ・ 取り付け手順



両面仕様は裏面もビス固定が必要です。

## ■ パネルのジョイント

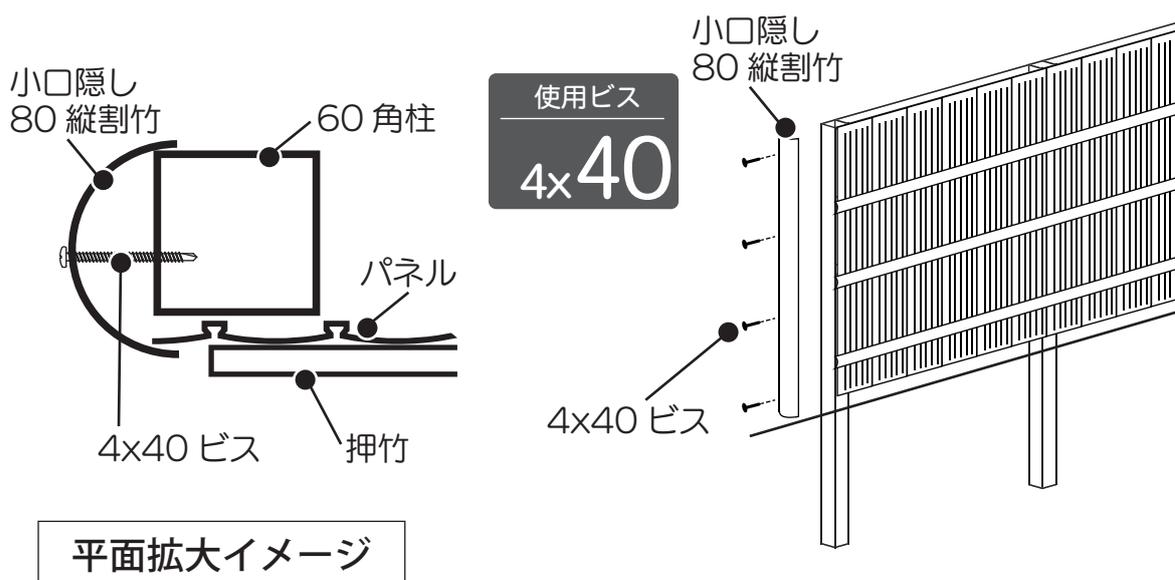
- ・ パネルを上下に接続する場合は、胴縁の中間に継ぎ目があるようにし、上から押竹で隠します。
- ・ パネル取り付けのビスは、上下の端部にそれぞれ取り付けます。



## ■ 小口隠し(別売)の取り付け

W80 幅 縦割竹

- ・ 小口隠しは柱やパネル端部を隠すために取り付けします。



# ・取り付け手順



両面仕様は裏面もビス固定が必要です。

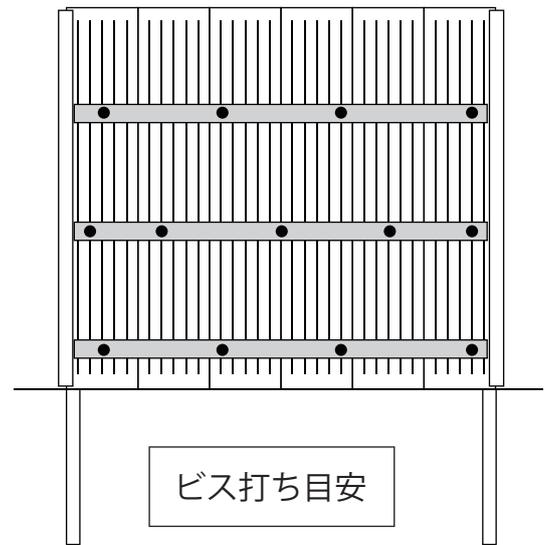
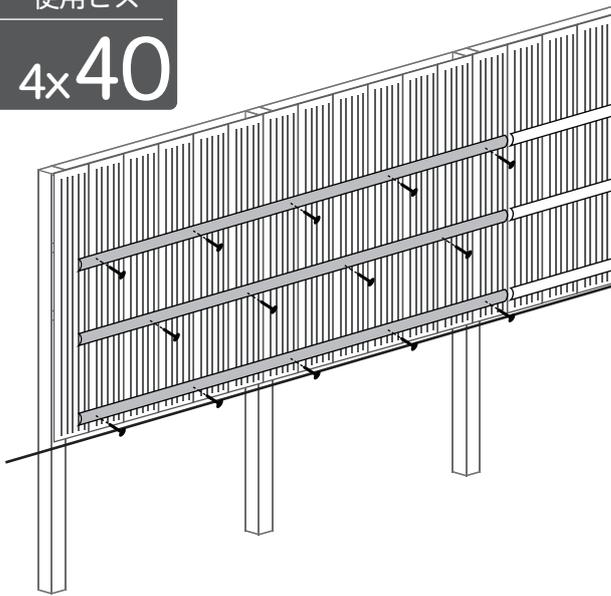
## ■押竹の取り付け

W53 幅 三ツ割竹

- ・ 押竹は段ごとに交互にビス止めし、ビス止め箇所をバンロープで隠すとキレイに仕上がります。
- ・ 320 ~ 550 mmピッチ間隔を目安にパネルの谷部分を貫通して胴縁とビス固定します。
- ・ 端部は突き合わせで固定します。

使用ビス

4x40



## ■笠竹の取り付け

W80 幅 縦割竹、W63 幅 縦割竹

- ・ 63 幅縦割竹を側面に、80 幅縦割竹を天面に取り付けします。
- ・ 片面仕様は 63 幅縦割竹が片側だけになります。

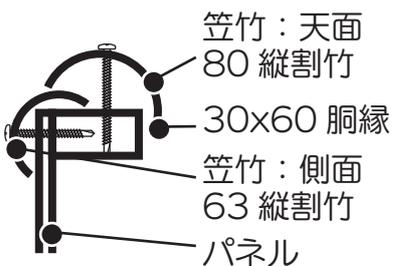
断面拡大イメージ

側面:使用ビス

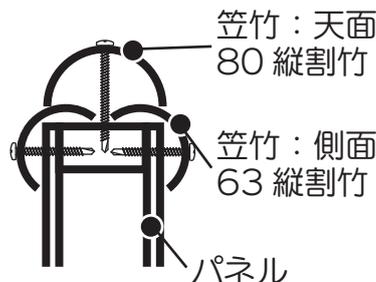
4x40

天面:使用ビス

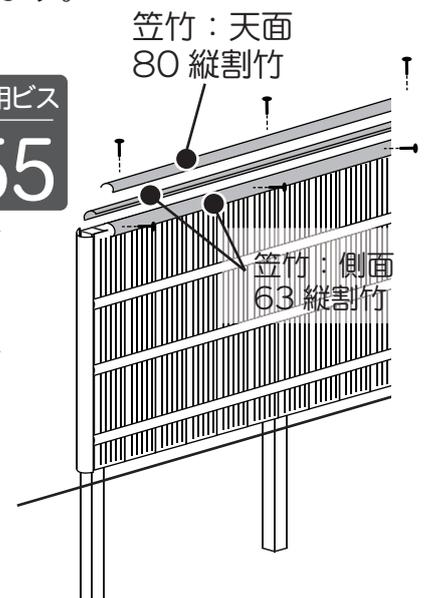
4x55



片面仕様

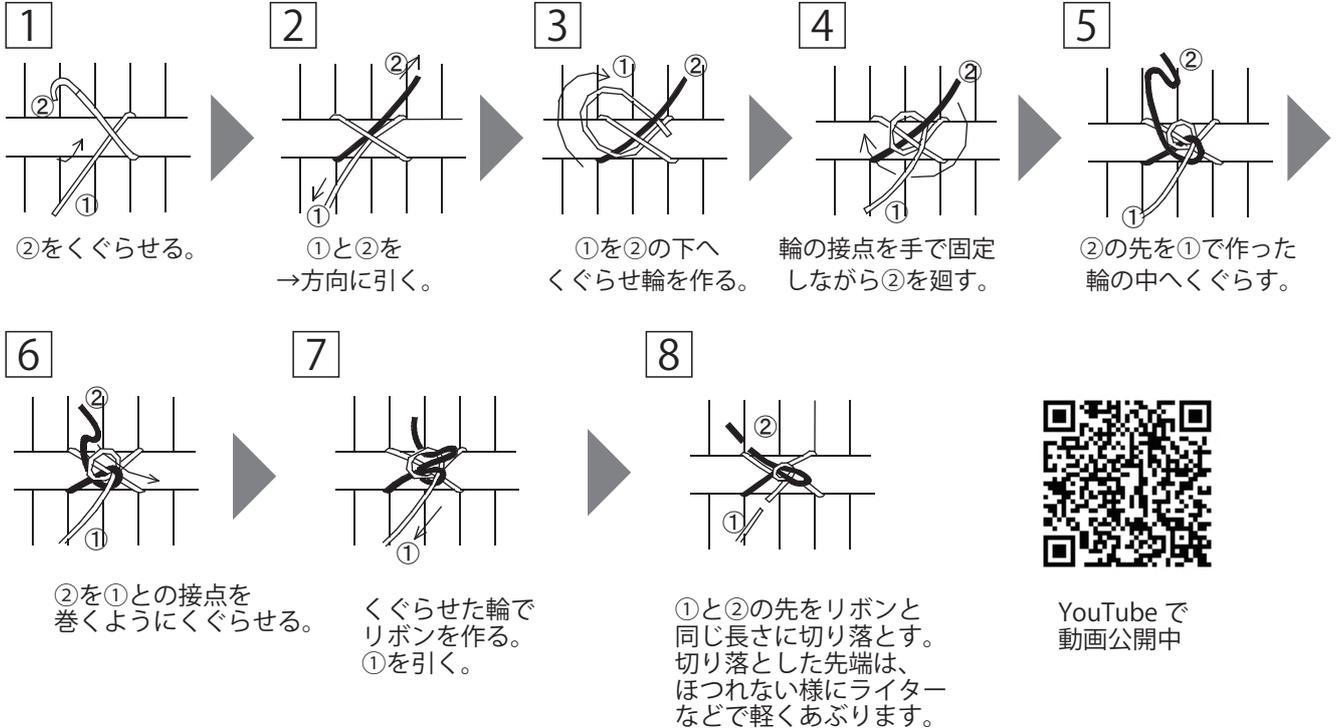


両面仕様



# ・バンロープ（シュロ縄）の結び方

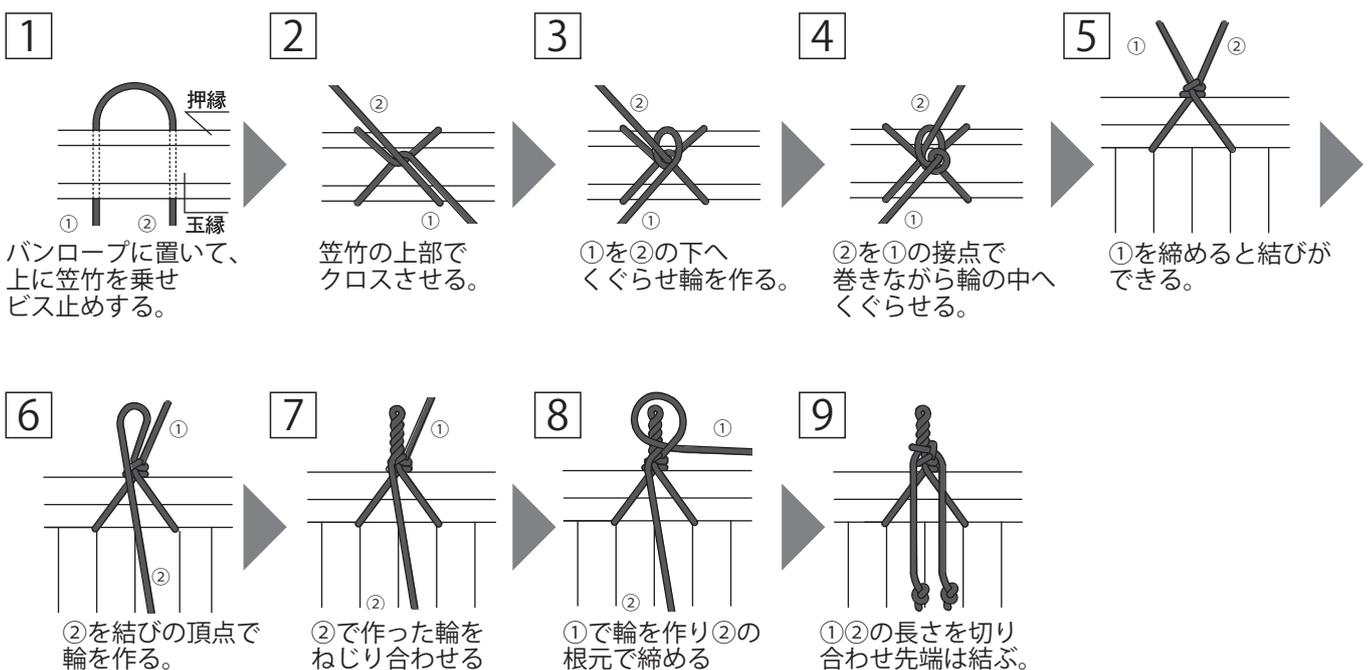
## ■押竹



YouTubeで  
動画公開中

## ■笠竹

下記の手順は笠竹固定前の結束方法です。  
笠竹固定後、パネルに穴開けして、取り付けることも出来ます。



# ・ 梱包入数明細表

- ・ フェンス本体セット、柱セット、小口隠しセットはそれぞれ別売りです。
- ・ すべて1セット辺りの数量です。片面タイプ、両面タイプで入数が異なります。

## ■柱セット

	部材	数量
H900 H1200 H1500 H1800	60角柱:ダークブロンズ	1
	キャップ:ダークブロンズ	1
H2200 のみ 付属	40角スチール柱	各1
	スペーサー	
	ビス4x16 20本入	
	ビス4x35 20本入	

## ■小口隠しセット

	部材	数量
各色 共通	80縦割竹	2
	ビス4x40 20本入	1

## ■フェンス本体

※ステンレスビスは袋単位で、すべて1袋20本入です。

部材	H900		H1200		H1500		H1800		H2200	
	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面
アルミ胴縁 30x60ダークブロンズ	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5
アルミL金具 ダークブロンズ	6	6	6	6	8	8	8	8	10	10
楽垣響 パネル W320	6	12	6	12	6	12	6	12	12	24
押竹 W53 (φ63三ツ割) L1920	2	4	2	4	3	6	3	6	4	8
笠竹①天面 W80縦割 L1980	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
笠竹②側面 W63縦割 L1980	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
バンロープ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
ステンレスビス 4x16 骨組用	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
ステンレスビス 4x16 パネル用	2	4	2	4	3	5	3	5	4	8
ステンレスビス 4x40 押竹用 笠W63用	1	2	1	2	1	2	1	2	2	3
ステンレスビス 4x55 笠W80用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1